

新型コロナウイルス流行時における

国際的に推奨される心のケアの14の活動

(Mental Health and Psychosocial Support: **MHPSS**)

IASC

Inter-Agency Standing Committee

IASC 国連機関常設委員会

緊急時のメンタルヘルスと心理社会的サポート
に関するIASCグループ

このスライドは、IASCの許可を得て、以下の福島県立医科大学グループが翻訳した
「新型コロナウイルス感染症(COVID19)流行時のこころのケア(日本語版)」の一部です。

作成: 前田正治(監訳)、瀬藤乃理子、村上道夫、竹林由武 スライド作成協力: 小林智之

問い合わせ先: d-kokoro@fmu.ac.jp (福島県立医科大学 災害こころの医学講座)

新型コロナウイルス感染症の対応として実施されるべき
心のケアに関する14の重要な活動

国連が推奨する心のケア活動には
以下にあげる14の大きな柱があります。

1. 課題 / ニーズ / 資源の評価
2. 分野を横断する協力体制の構築
3. 支援システム構築
4. 多様性を考慮した支援の確立
5. メンタルヘルス・心理社会的配慮の強調

6. 正確な情報の発信 / 情報へのアクセスの確保
7. 最前線で戦う人々へのトレーニングとサポート
8. 問題を抱えた人の紹介ルートの確保
9. 心理社会的支援の資源へのアクセスの確保
10. 隔離中の子どもとできる活動ツールキットの作成
11. 地域の文化に応じた喪の機会作り
12. 隔離によるネガティブな影響を減じる方法の確立
13. 保健・医療の専門家の支援
14. 活動の有効性を評価する方法の確立



Inter-Agency Standing Committee

IASC 国連機関間常設委員会

緊急時のメンタルヘルスと心理社会的サポート
に関するIASCグループ



1. 課題 / ニーズ / 資源の評価

地域特有の心のケアの課題、ニーズ、および
利用可能な資源について迅速な評価を行う

次のような項目のアセスメントも必要です。

- 研修実施のニーズ
- 様々なケア領域間の能力の違い

IASC

Inter-Agency Standing Committee

IASC 国連機関間常設委員会

緊急時のメンタルヘルスと心理社会的サポート
に関するIASCグループ



Photo by NordWood Themes on Unsplash

2. 分野を横断する協力体制の構築

部門横断的な協力体制の強化を最優先に行う

- ◆ 保健医療、感染防護、行政, その他の関係者を含めた連携体制を構築する
- ◆ 心のケアのテクニカル・ワーキンググループをたちあげ、他の部門をサポートする体制を作る

IASC

Inter-Agency Standing Committee

IASC 国連機関常設委員会

緊急時のメンタルヘルスと心理社会的サポート
に関するIASCグループ



Photo by NordWood Themes on Unsplash

3. 支援システムの構築

必要なケアを提供するシステムを構築する

- ◆ ニーズや格差、既存の資源、性差を考慮したアセスメントをもとに情報を活用する
- ◆ 多様なレベルの問題に対応するために、全ての保険医療施設に一人以上、専門のトレーニングを受けた人を配置し、メンタルヘルスに問題をもつ人のケアを提供できるシステムを作る
- ◆ 心理社会的支援を持続的かつ長期的に維持するために、権利擁護の観点からの取り組みが必要である。
(長期的な資源の配分、資金、良質な協力体制など)

4. 多様性を考慮した支援の確立

多様な対象への心のケア活動を確立する

▶ 新型コロナウイルス感染症患 / その回復者 / 接触者(特に孤立した人々) / 家族 / 前線で戦う人(医療者など)、コミュニティ

▶ そのほか、特別な集団や脆弱性のある人に配慮する。

例えば、子ども / 高齢者 / 妊産婦 / DV被害者 / 障害者

恐怖やスティグマ、有害なストレス対処法を扱うほか、アセスメントで特定されたニーズに対し、地域資源も考慮しながら、コミュニティと健康、教育、社会福祉サービスとの緊密な協力関係を促す。

IASC

Inter-Agency Standing Committee

IASC 国連機関常設委員会

緊急時のメンタルヘルスと心理社会的サポート
に関するIASCグループ

5. 心のケアに対する配慮の強調

感染対応の際には常時、心のケア活動を取り入れる

女性や女児、とりわけその中でも暴力の支配下にあったり、その危険性のある人には、支援システムにアクセスできなくなる要因を考慮しつつ、その排除に取り組む。

IASC

Inter-Agency Standing Committee

IASC 国連機関間常設委員会

緊急時のメンタルヘルスと心理社会的サポート
に関するIASCグループ



Photo by NordWood Themes on Unsplash

6. 正確な情報の発信 / 情報へのアクセスの確保

感染症に関する正確な情報を利用しやすくする

前線で戦う医療者、感染症者など、コミュニティのすべての人が情報にアクセスできるようにしましょう。

▶ 情報に含まれるべき要素

- ◆ 感染予防のための科学的根拠に基づいた実践報告
- ◆ ヘルスケア・サポートの見つけ方
- ◆ メンタルヘルスを増進するようなメッセージ

IASC

Inter-Agency Standing Committee

IASC 国連機関常設委員会


緊急時のメンタルヘルスと心理社会的サポート
に関するIASCグループ

7. 最前線で戦う人たちへのトレーニングとサポート(1)

前線で働くすべての就労者(医療・保健担当以外も含む)に
心のケアに関するトレーニングを行う

▶ 研修が必要な知識

□ 心理社会的なケアに関する原則

□ サイコロジカル・ファーストエイド(PFA) 

<http://www.j-hits.org/psychological/>

□ 必要に応じて専門家に紹介する方法

IASC

Inter-Agency Standing Committee

IASC 国連機関間常設委員会

緊急時のメンタルヘルスと心理社会的サポート
に関するIASCグループ



Photo by NordWood Themes on Unsplash

7. 最前線で戦う人たちへのトレーニングとサポート(2)

心のケアを行えるスタッフを配置する

- ◆ 治療・隔離・検疫の実施施設だけでなく、その他施設にも心のケアを行えるスタッフを配置する。
- ◆ 感染リスクへの懸念から研修スタッフが現場向かうことができない場合には、**オンラインでのトレーニングを検討**する。

8. 問題を抱えた人の紹介ルート確保

関連する部門のすべてにおいて、メンタルヘルスの問題を抱えた人に対する紹介ルートを確保する。

- ◆ その部門には、健康問題、感染防護、DVなどのジェンダー・バイオレンスなども含まれる。
- ◆ 対応するすべての従事者が、そのような紹介システムを知り、それを利用できるようにする。

IASC

Inter-Agency Standing Committee

IASC 国連機関常設委員会

緊急時のメンタルヘルスと心理社会的サポート
に関するIASCグループ



Photo by NordWood Themes on Unsplash

9. 心理社会的支援の資源へのアクセスの確保

新型コロナウイルスに対応するすべての就労者が心のケアの資源にアクセスできるようにする。

- ◆ 心の安心/安全を確保することは、知識や装備によって身体的な安全を確保することと同じくらい重要である。
- ◆ 可能ならば、リスクや急を要する問題を特定し、ニーズに対応するために、前線で働く人々の心理面や社会的状況を定期的にチェックするように心がける。

10. 隔離中の子どもとできる活動ツールキットの作成

- ◆ 親、教師、家族が、隔離中の子どもと一緒に利用できるような活動ツールキットを開発する。このようなツールキットには、病気の感染拡大を防ぐようなメッセージを含んでいる。
- ◆ 治療や感染予防の場合でなければ、子どもを家族から離すべきではない。
 - ◆ どうしても離れなければならない場合は、子どもへの感染防護対策を講じながら、安全で信頼できる代替りの人を見つけ、定期的に家族と連絡をとれるようにする。

11. 地域の文化に応じた喪の機会作り

- ◆公衆衛生に配慮しつつ、コミュニティの伝統や儀式を考慮した、**遺族が喪に服することができるような機会**をつくる。

12. 隔離によるネガティブな影響を減じる方法の確立

- ◆施設外の**家族や友人とのコミュニケーション**、自分自身で選択して日常活動を行うといった**自律性**を促し、実施してもらう。

IASC

Inter-Agency Standing Committee

IASC 国連機関常設委員会

緊急時のメンタルヘルスと心理社会的サポート
に関するIASCグループ

13. 保健医療の専門家の支援

- ◆ 回復期の早い段階で、持続可能で地域に根ざした心のケアのシステムが確立されるように、保健・医療の専門家を支援する。

14. 活動の有効性を評価する方法の確立

- ◆ 心のケアの有効性を評価するため、モニタリング、アセスメント、説明責任、学習の方法を確立する



Inter-Agency Standing Committee

IASC 国連機関常設委員会

緊急時のメンタルヘルスと心理社会的サポート
に関するIASCグループ

新型コロナウイルス感染症に対する理解は常に進んでいる一方で、その状況もまたすぐに変化しています。
新しい情報は以下を参照してください。

WHO(世界保健機構)

<https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019>

ジョンズホプキンス大学

<https://gisanddata.maps.arcgis.com/apps/opsdashboard/index.html#/bda7594740fd40299423467b48e9ecf6>

厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html



Inter-Agency Standing Committee

IASC 国連機関常設委員会

緊急時のメンタルヘルスと心理社会的サポート
に関するIASCグループ

本文書はversion 1.5 です。(2020年3月17日現在)
文書全体は、下記のURLからダウンロードすることができます。🔗

<https://interagencystandingcommittee.org/other/interim-briefing-note-addressing-mental-health-and-psychosocial-aspects-covid-19-outbreak>

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行が続く間は、定期的に更新される予定です。

IASC